

科目名	スポーツⅡ(2年)	単位数	1	必修選択	必修
教科書					
副教材	アクティブスポーツ(大修館書店)				

教科・科目の内容

○ネット型

＜バレーボール（2年前半）＞パス、サーブ、スパイク、レシーブの基本的な技術を身につけ、ルールを理解し、練習・審判方法を学習し、試合・試合運営ができるようにする。

○ゴール型

＜サッカー（2年後半）＞ボールを止める、蹴る、運ぶといった基本動作やボールがないところの動き・対人プレーを習得し、味方とコミュニケーションをとりながら状況に応じて試合ができるようにする。またルールや審判方法を学習し試合運営ができるようにする。

日常生活や将来とのつながり

球技の技能を身につけ、個人の技能に応じた戦術や作戦を用いて攻防を展開する中で、運動することの楽しさを感じることができます。また、自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、課題を解決していくことで、日常生活での問題解決の能力の向上につながります。球技では、ルールを守ること、相手を尊重する行動や気持ち、仲間とのコミュニケーションが大切です。社会生活でも求められる資質を身につけることにつながります。球技を通して、運動に対する興味関心や意欲を持ち、競技の特色を理解し、卒業後も継続していきたいと思う気持ちを持ち、生涯にわたって健康的な生活を送ることができるようにするために積極的に取り組もう。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

生涯スポーツの1つと位置づけ、各種目の技術習得を始め、成り立ち、歴史、ルールを理解し、積極的・自主的に取り組もう。

個人又は、集団としての技術、戦術等を学習し、技術・試合分析、指導方法、試合開催の仕方等を理解し、公正・安全に、球技型スポーツの楽しさ、奥深さを実感できるようにしましょう。

到達目標

球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察)

球技の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、競技のルールや審判の判定を遵守しようとする。また、公正、協力、責任、参画などの意欲を高め、安全に留意する。

② 思考・判断・表現(行動観察・授業ノート)

自己の課題を解決するとともに、課題の設定や情報の分析、活動の振り返り、目標の修正や練習計画の組み立てなどができるようにする。

③ 技能(チェックテスト)

個人の技能に応じて戦術、作戦を重視した攻防を展開できるようにする。

ボール操作では、ボールを保持したり相手をかわしたりすることができる。

ボールを持たないときに、空間に走り込んだり仲間をサポートしたりすることができる。

④ 知識・理解(行動観察・授業ノート)

技術、戦術、作戦およびその高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、審判法や競技会の企画・運営の仕方などを理解することができるようにする。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	スポーツⅡ	1	()	アクティブスポーツ(大修館書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	(バレーボール) 基本技術(パス、レシーブ、サーブ、スパイク)の習得	パスについて理解し、基本技術として習得する。 サーブ、レシーブについて理解し、基本技術として習得する。 スパイクについて理解し、基本技術として習得する。 各自の課題を見つけ、解決の方法を考える。	○	○		○
	ルールの理解と試合の運営	ルールについて理解し、試合が運営できるようにする。				○
	戦術の理解と実践 ゲーム	基本戦術になる三段攻撃について理解する。 基本技術に基づいてゲームをする。 個人の役割を意識して、仲間と協力してゲームができる。	○	○	○	○
	チェックテスト	基本技術についてのチェックテスト			○	
二学期	ゲーム	個人およびチームの課題の解決を目指す。 戦術を重視したゲームを展開する。	○	○	○	○
	(サッカー) 基本技術(ボールコントロール、パス、ドリブル)の習得	ボールコントロール、パス、ドリブルについて理解し、基本技術として操作することができる。 各自の課題を見つけ、解決の方法を見つけている。	○	○	○	○
	ルールの理解と試合の運営	ルールについて理解し、試合の運営について、学習した具体例を挙げている。 特有のマナーや競技規則を守り、安全に取り組もうとしている。				○
	戦術の理解と実践 ゲーム	基本戦術になる攻撃、守備について理解している。 基本技術に基づいてゲームをすることができる。 個人の役割を意識して、チームに適した関わり方を見つけている。	○	○	○	○
	チェックテスト	ボールコントロール、パス、ドリブルについて理解し、基本技術として操作することができる。			○	
三学期	ゲーム	個人の役割を意識して、チームに適した関わり方を見つけている。 チームの作戦や戦術について話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	○
	チェックテスト	ゲームにおけるチームの特徴を踏まえて作戦や戦術を選んでいる。	○	○	○	○

備考	
----	--